

令和6年度第2回中野市学校給食センター運営委員会会議録 要旨

開催日時 令和7年3月26日（水） 午後3時30分

開催場所 中野市北部学校給食センター 2階会議室

出席者

（委員）

村島康秋委員、神田久仁玲委員、小林みどり委員、野口央梨恵委員、小池留美子委員
小林裕美委員、塩崎陽子委員、小山正博委員、嶋田茜委員、田中五月委員、

（事務局 市教育委員会）

柴本豊教育長、柴本清天教育次長、大沢英樹所長、田澤悦子栄養教諭、
宮澤比呂子栄養教諭、高橋佳子栄養職員、平沢由美栄養職員、田中幸子副主幹、
岩本めぐみ栄養士、

欠席者

（委員）

竹節幸子委員、古田忍委員

会議内容

- 1 開 会 柴本教育次長
資格審査報告 委員12名中、出席者10名
(運営委員会条例第5条第2項の規定により、出席委員が過半数を上回っているため、運営委員会が成立)
- 2 あいさつ 柴本教育長
- 3 会議事項
(1)令和7年度事業概要について、所長が資料に基づいて説明を行った。

【 質疑・ご意見 】

委 員：毎年1回非常食を給食で食べているが、長期保存が可能なものを購入しているのであれば、毎年食べる必要がないのではないか。無償化になるのだから、ざわざわ給食の中でいただかなければならないものなのか。どういう意図があってやっているものなのか聞きたい。

事務局：新しいものと更新していかなければならない関係と、災害時の対応に慣れておいていただきたいという理由から、これから先も給食の中で取り扱っていきたいと思っている。

委員：賞味期限が長いのであれば、予算が少ないと聞いているので期限が来た時にいただくというのでもいいのかと思ったが、慣れるために食べておくというのであれば、私はそれでもいいと思う。

事務局：危機管理の部分というところにも趣を置いているので、子どもたちに「こういうこともある」と知ってもらうこと、「いざとなったら、こういうことが起こる」という危機意識を高めるためにも、実施する予定。

会長：質問ですが、給食を食べられない子どもには、お金をつて話があるが、1食いくらの計算でお金を支払うのか。中学生は1食370円なので×食数か。

事務局：給食を食べられない、アレルギー等で給食を食べたくても食べられない方には自宅から持ってきてもらえば、給食費分をお返しする。不登校などで食べない方は対象外。金額については、小学校低学年、高学年、中学生の1食の給食単価がベースになる。市外の中学校に通う子についても、この金額をベースに考えている。

4月の広報なかの無償化の記事が出る。市外の学校に通学している方は来年の2月ごろに、何食食べたか通学している学校に証明をしてもらって中野市での給食費1食の単価を付けてお支払いすると考えている。

会長：「学校に来れないから、給食を食べないからお金をください」という人がいるかもしれないから、周知を工夫して欲しい。

事務局：その部分についても、フードロス削減の観点から食べない場合には給食を止める手続きをして欲しいという趣旨の文章を記事に入れてある。

(2)令和7年度事業計画（案）について、栄養教諭が資料に基づいて説明を行った。

【 質疑・ご意見 】

委員：学校給食は1食あたり何グラムの食塩量を目安として給食を作っているか。

事務局：学校給食は目標量があり、小学校は2グラム、中学校は2.5グラムです。

委員：学校給食の献立表を紙で家庭に配布されているが、テトルなどでデータ送信してもらえないか。

事務局：学校でどう配布するかでデータで配布しようという動きもある。学校へデータで送ることができるので、学校の決めたやり方で配布していただくこととしている。ただ、結構冷蔵庫に貼っているご家庭もあるので、学校ご

と家庭の様子で決めていただければと思っている。市のホームページにも掲載しているので、そちらから印刷してもらうこともできる。

(3)学校給食センター新設統合について、所長が資料に基づいて説明を行った。

【 質疑・ご意見 】

委 員：現センターでカビが発生しているということだが、新しいセンターになってもお手入れの方法を変えないと、またカビが生えてしまうと思われるが、何か違う方法を考えているか。

事務局：基本的には床の剥がれなど 10～15 年で改修が必要になるが、計画的に修繕を進める。カビについては、洗浄室は大量に高温のお湯を使用するので湿気が溜まりやすい。新センターは空調設備を考慮したセンターにしたい。一番の弱点は配管かと思う。現センターでは地下ピットがなく改修が難しい。新センターでは設計の段階でしっかり打ち合わせを行い進めていきたい。

4 閉 会 午後4時20分